

第14回 200年の森づくりデザイン策定実行委員会

日 時：平成24年11月12日(月) 14:00~16:00

場 所：前橋市市民活動支援センター 会議室(前橋プラザ元気2 1/3 F)

参 加 者：大松 稔(NPO法人ぐんま緑のインタープリター協会)、田中洋助(ぐんま森林インストラクター会)、菊川照英(NPO法人フォレストぐんま21)、高橋正直(群馬県渋川森林事務所長)、田村 宏(前橋市農政部長)、石塚 征人(赤城南麓森林組合)、岡田 茂(サンデンファシリティ株式会社)、長島 成和(株式会社興林)、小林善紀(事務局)

議 事 録

議 題

1、前回(第13回)議事録によるレビュー。

事務局による第13回実行委員会議事録の朗読により承認された。

2、200年の森づくりデザイン策定について(5~6回の実行委員会等を経て)
方向性の共有化と時系列計画について

対象エリアは薄青、青、濃青の3エリアとすることが確認された。

3 エリア内でサンプル的団地化を図り、森づくり計画案を提案することや水源林を選び出し、森づくり計画を提案していく案等が出たが、方向性の共有化は次回の実行委員会に持ち越した。

時系列計画は取り敢えず11月12日(月)14:00~16:00とし、そこで決めることとした。
今回提出のなかった河川図入りの松林配置図は、次回提出されることになった。

- ・ 3エリア内でサンプル的団地化を図り、森づくり計画案を提案する
- ・ 水源林を選び出し、森づくり計画を提案する
- ・ 具体例としての提案(三夜沢地区森づくり)について

上記3点を検討する前提として、森林組合石塚氏により航空測量図による主な河川を映像により説明し、合わせて被害状況につながる松林配置図に河川の位置を落として説明された。次回までには松林配置図に河川図を加えた資料を作成することになった。

薄青地区として、三夜沢地区は所有者が我々の提案を受け入れた森づくりを実施する可能性が高いため、所有者も立会いの上、実行委員による現地調査を12月3日午前9:00、赤城南麓森林組合集合で実施、土壌調査等も実施し具体的提案の論旨を検討することになった。その後、青、濃青エリアは検討することになるが、小野里工業(株)及びトヨタ自動車所有の山林が候補としてあげられ、12月3日までに所有者に打診してみることにする。

- ・ 今後の時系列計画について

2月初旬の実行委員会で森づくりデザインの原案を作成し、検討する。

3月初旬に最終検討をし、森づくりデザインを作成する。

- ・ その他

特に無し

3、上下流域市民による水源の森づくり実践について(シブヤ大学等)

日時：平成24年12月8日(土)11:00~16:00

場所：室沢交流の森

内容：間伐、林地整備

チラシ原稿を提出し、了承された。

4、その他

- ・ 11月4日に実施した、第4回覚満淵ササガリ作戦の実施報告が映像による報告がされた。

次回の日程

日 時：平成24年12月3日(月) AM9:00～12:00

場 所：赤城南麓森林組合、三夜沢フィールド

以上